

催吐リスク Moderate

腸 (BEV5+CPT100)d1,15+s1/d1-14/c28d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間 (分)	投与日(day)
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤	経口		mg		1-14
			mg		
パロノセトロン	注射	0.75	mg		1
デキサメタゾン	注射	6.6	mg	生食 100 mL	30 1
アバスチン	5	mg/kg	生食	100 mL	10 1、15
イリノテカン	125	mg/m ²	5%糖液	250 mL	90 1、15
				mL	
				mL	
				mL	

内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3

投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)白血球 $\geq 3,500/\text{mm}^3$ 、好中球数 $\geq 1,500$ 、血小板数 $\geq 100,000$ 、ヘモグロビン:9.0g/dL 以上、

総ビリルビン:施設正常値上限の2.0mg/dL 以下、AST(GOT)・ALT(GPT):施設正常値上限の2.5倍以下

Ⅲ. 減量基準 (例: Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

[アバステン] 減量基準なし

[ティーエスワン]

以下の減量基準に該当した場合、1段階減量(減量段階1)。1段階減量後、再度減量基準に該当した場合は更に1段階減量する(減量段階2)。

- ・非血液毒性: 下痢・口内炎 G2 以上、クレアチンクリアランス 60ml/min、その他の非血液毒性 G3以上
- ・血液毒性: 白血球数: 1,000/mm³ 以上、好中球数: 500/mm³、血小板 50,000/mm³

ティーエスワン減量時の投与量(1日用量)

体表面積	減量段階1	減量段階2
1.25 m ² 未満	60mg/日	
1.25 m ² ~ 1.5 m ²	80mg/日	60mg/日
1.5 m ² 以上	100mg/日	80mg/日

[塩酸イリノテカン(イリノテカン塩酸塩点滴静注液「タイホウ」)]

好中球数<500、血小板<50,000、Grade3 以上の消化器系有害事象発現時、次回より投与量を80%に減量

Ⅳ. 重大な副作用 (例: 好中球減少 Grade3 以上37.5%)

主なG3 以上の副作用: 好中球減少 25%、下痢 15%、高血圧 19%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)